

YU9

YU-INFORMATION
2012 SEPTEMBER No.109

山口大学広報誌

山口大学と海外をつなぐ留学生たち

山口大学留学生センター

留学希望の学生と外国人留学生を総合的にサポート

海外への留学制度 / 山大学生の留学体験

外国人留学生をサポートする制度

外国人留学生の体験談

トップレベルの若手研究者の育成を目指す

山口大学テニュアトラック制度





YU-INFORMATION
2012 SEPTEMBER No.109



「志」つなぎ 伝える 二百年

山口大学は、長州藩士・上田鳳庵によって1815年に創設された私塾山口講堂を起源とし、明治・大正期の学制を経て、1949年に、地域における高等教育および学期研究の中核たる新制大学として創設されました。来る2015年には、山口講堂創設から創基200周年を迎えます。

山口大学は、地域に根差した大学として、さらなる充実と飛躍を期し、次なる100年をより有意義なものにするための記念事業を計画しています。



<http://www.yamaguchi200.jp/>

テーマ

山口大学と海外をつなぐ留学生たち

内向き志向の学生が増えたと言われる中でも、海外へ目を向け、留学体験をした学生は学内に大勢います。また、海外からの外国人留学生も多く、現在、約300名が在籍しています。今、社会全体で国際化が進んでいます。山口大学と海外をつなぐ留学生を通して、大学の国際化について考えてみませんか。そこでYU-INFORMATION 9月号では、本学の留学をサポートする制度の紹介と留学体験をした学生と海外からの留学生の体験談をご紹介します。

CONTENTS

■特集 1	01
山口大学と海外をつなぐ留学生たち	
山口大学留学生センター「留学希望の学生と外国人留学生を総合的にサポート」海外への留学制度	
山大学生の留学体験	
外国人留学生をサポートする制度	
外国人留学生の体験談	
■特集 2	06
トップレベルの若手研究者の育成を目指す	
山口大学テニュアトラック制度	
■連載企画	08
考える就職活動	
[平成24年度 第3回] 記者を仕事にするとということ	
■年間企画	09
NEWS&TOPICS	
こちら YU-PRSS !	
YU INFORMATION	編集発行/山口大学広報委員会
ワイユースイフォーメーション	西田真夫 (副学長・総務企画担当) / 伊藤美奈 (人文学部) / 菊屋吉生 (教育学部) /
山口大学広報誌 第 109 号	千中真一 (経済学部) / 木内 功 (理学部) / 大和田祐二 (医学部) /
	山本智夫 (工学部) / 竹松肇子 (農学部) / 渡辺雅久 (共同獣医学部) /
	向崎隆 (法学部) / 平井信昭 (大学研究推進機構) /
山口大学総務部広報課	小川昭比呂 (大学情報機構) / 五十嵐美流 (ユースタシオンセンター) /
〒763-8511 山口県山口市吉田 1677-1	丸藤 隆 (アトミッションセンター) / 向山尚志 (大学院技術経理研究科) /
TEL: 083-933-5007 FAX: 083-933-5013	奥本智也 (国際部広報課)
E-MAIL: ysh011@yamaguchi-u.ac.jp	企画・編集・撮影・デザイン/マルニ
URL: http://www.yamaguchi-u.ac.jp/	印刷/マルニ



山口大学留学生センター

留学希望の学生と外国人留学生を総合的にサポート

山口大学における留学生の状況

山口大学では、学術交流協定に基づいた約20名の本学学生が交換留学生として、半年～1年の留学生活へ向け世界各国に羽ばたいています。長期留学以外にも、海外短期語学研修やサマープログラムなど、短期の海外研修も含めると、毎年多くの学生が海外体験の機会を得ています。

また、海外からの留学生については、世界33カ国・約300人の外国人留学生が山口大学で学んでいます。学部学生、大学院生のほか、本学の教員から直接指導を受け、一定期間、特定の課題を研究する研究生入学もあります。外国人留学生の大学院生の多くは、研究生として在籍している

期間中に大学院入試を受験して入学した人も多くいます。また、経済学部、工学部は渡日せずに入試を受けることができる渡日前入試も実施しており、外国人留学生に配慮した入試制度を導入しています。

山口大学留学生センターの役割とは

これらの学生たちの留学に関する支援を総合的に行っているのが、山口大学留学生センターです。外国人留学生の受け入れや、本学学生の海外留学を総合的に支援・推進しています。情報・サービスの提供だけでなく、外国人留学生の日本語・日本事情教育および生活指導を通して就学支援も行っています。本学学生へ

は、外国語・異文化理解教育を通し、国際社会で活躍できる人材を育成することを目指しています。

また、本学共通教育本館2階には、留学に関する資料を自由に見ることができるラウンジがあります。留学情報だけでなく、山口県内観光地の外国語パンフレットも設置しています。誰でも自由に利用することができますので、ぜひご利用下さい。



海外への留学制度

1年間の長期留学から1ヶ月程度の短期留学まで、山口大学には様々な留学制度があります。「語学をマスターする」「視野を広げる」「世界を見てみたい」など、留学する学生の目的も様々。山口大学の留学制度について紹介します。

協定校交換留学

山口大学では、世界中のたくさんの大学と大学間交流協定、学部間交流協定を締結しています。協定校に留学する場合、留学先の協定校で取得した単位は、所属学部が認める範囲で、山口大学の単位として認定されますので、休学の必要はありません。また、交換留学の条件に合えば、留学先の協定校への授業料は免除され、留学期間中は本学に授業料を納めます。

毎年多くの学生が交換留学生として、海外の協定校に派遣されています。派遣期間は、半年～1年程度で、世界中の国々で語学や文化を学んでいます。

留学するには前年度に選考があります。また、交換留学の人数や語学レベルは、各協定校によって異なるので、留学生センターまたは各学部の留学生担当係にお問い合わせ下さい。

■平成23年度派遣学生数(国別)

派遣先	人数
ドイツ	4名
アメリカ	5名
台湾	2名
イギリス	6名
ベトナム	1名
韓国	4名
合計	22名



海外短期派遣プログラム

夏休みや春休みを利用した、1～2ヶ月程度の研修プログラムです。言語は、英語、中国語、韓国語のいずれかを学びます。研修実施機関は、全て山口大学の協定校なので安心です。プログラムごとに詳しい説明会を実施します。説明会の案内は、各学部に掲示されます。

派遣先	言語
リジャイナ大学(カナダ)	英語
ニューカッスル大学(オーストラリア)	英語
ロンドン大学(イギリス)	英語
韓国外国語大学(韓国)	韓国語
北京師範大学(中国)	中国語

サマープログラム

山口大学の海外の協定校が夏休みにも主催する短期のプログラム。文化や言語を学ぶもの、多くの国の学生と交流できるものなど、それぞれのプログラムに特徴があります。プログラムごとに募集、選考がありますので、各学部、留学生センターの掲示板に掲示された協定校からの募集案内をご確認下さい。

山大生の留学体験

語学をマスターするため、山口大学から海外へ留学した学生2名に、留学先での体験や文化・習慣の違い、留学経験を経た自身の変化やこれから留学を考えている学生へのメッセージなど、留学体験談をお伺いしました。



三浦 真希

Miura Maki
(人文学部・4年)

留学先/ドイツ
大 学/エアランゲン・ニュルンベルク大学
期 間/平成23年3月～平成24年2月(1年間)

留学のきっかけは？

授業でドイツ語を勉強していたのですが、こんなに難しい言語を使っているドイツの人たちに興味が出て、実際に行ってみたいと思いました。高校生の時に、アメリカへホームステイに

行ったことがあるのですが、その時に1ヶ月では足りなかったので、留学するなら1年にしようと思いました。

留学先での授業はどうでしたか？

語学の授業ばかりでしたが、日本でのドイツ語の勉強が足りなかったのが大変でした。ヨーロッパの人たちは、文法よりもしゃべることが先という感じで、アジアの人は筆記での成績がいいという傾向がありましたね。

印象的だったことは？

パーティが頻繁にあったことです。寮がたくさんあるのですが、それぞれの寮で毎週パーティが行われていて、行こうと思えば毎日参加できるくらいでした(笑)。最初は慣れなくて大変でしたが、慣れたらとても楽しかったです。

留学経験で何か変化はありましたか？

自己主張が苦手でしたが、ドイツに

行ってから発言することの大切さに気付きました。日本では黙っていても授業は進みますが、ドイツではみんな手を挙げて積極的に発言していました。そうやって参加しないとやる気がないと思われるようで、間違えてもいから発言するようになりました。日本に帰ってからも実行するようにしています。

留学を考えている人へのメッセージ

留学を迷っている人がいたら、絶対に行った方がいいです。語学力に自信がなくても、他の留学生も話せない状態です。語学ができないからと迷っているなら、思い切って行ったほうがいいと思います。



歌津 雄己

Utatsu Yuuki
(経済学部・3年)

留学先/台湾
大 学/国立中興大学
期 間/平成24年2月～7月(半年)

留学のきっかけは？

元々、海外志向はなかったのですが、大学に入った時に何かしたいと思い、国際ワークキャンプというボランティアに参加しました。その時に海外が楽しいと感じて、友達と海外旅行に行く

ようになりました。1年生の時に中国語を勉強していたのと、いろいろな人から「これからは中国語が必要だ」と聞いていたので、中国語をもっと身につけよう台湾への留学を決めました。

留学先での授業はどうでしたか？

語学力を身につけるための勉強をしました。日本では、1年間中国語の授業を受けていましたが、実際に話してみると何も話さなくて、留学中には大学以外にも言語学校に通っていました。毎日ノートと辞書を持ち歩いて、分からない言葉はすぐ調べて、家に帰って勉強もしていました。

印象的だったことは？

日本と比べて物価が安いのが印象的でした。日本円で約150円あれば、大盛りチャーハン2人前が食べられましたね。台湾は、美味しいものが多いの

で、たくさん食べてってしまいました(笑)。

留学経験で何か変化はありましたか？

語学に関しては、日常会話程度は話せるようになったと感じます。全く話せない、聞き取れない状態だったので、最初は現地の人に聞き返されることも多く、心が折れました。そういう経験を何度も重ねて精神的に強くなりました。

留学を考えている人へのメッセージ

迷っているなら行ったほうがいいのかと思います。ボランティアの時に社会人の方と話して、「学生じゃないとできない」とうらやましがられました。行ってみて後悔はないと思います。

外国人留学生をサポートする制度

山口大学には、海外から留学している外国人留学生も多く、慣れない土地で勉強や研究に励んでいます。外国人留学生がより快適に大学生生活を送ることができるようサポートする制度を紹介します。

山口大学の外国人留学生

山口大学では、約300名の外国人留学生が在籍しています。最も多いのは中国からの留学生で、アジアを中心にアフリカ、ヨーロッパ、南アメリカからの留学生も山口大学で学んでいます。

入学時期は、学部生及び大学院生ともに4月です。大学院によっては10月に入学することもできます。

◆国際交流会館

吉田キャンパスと常盤キャンパスには、初めて渡日する留学生のため

の宿舎「国際交流会館」があり、快適に就学・研究・生活できる環境が整っています。

◆日本語授業

学部生の共通教育科目として日本語の授業科目を開講しています。日本語能力別に初級・中級・上級のクラスがあり、初級では「読解」「聴解」「作文」「口頭発表」の練習、中級・上級レベルでは「文法」「漢字」「語彙」を学びます。日本語による授業を理解し、授業で質問、発表、レポート

作成等の活動ができる日本語レベルの修得を目指します。

◆チューター制度

学部生は渡日後2年間、大学院生・非正規生は渡日後1年間、チューター制度を利用することができます。チューター制度とは、日本人学生が日本語や授業の支援といった勉強面でのサポートや、日常生活に関するアドバイスをしてくれます。留学生一人に対して、チューターが一人つきます。

出身国別外国人留学生数

(平成24年5月1日現在)

出身国・地域	留学生数	出身国・地域	留学生数	出身国・地域	留学生数	出身国・地域	留学生数
中国	123名	インド	1名	イラン	2名	ウガンダ	1名
韓国	25名	ラオス	2名	サウジアラビア	1名	ドイツ	1名
香港	1名	ネパール	1名	エジプト	3名	ウクライナ	2名
台湾	18名	ベトナム	15名	スーダン	1名	リトアニア	1名
マレーシア	38名	ミャンマー	1名	ケニア	1名	イギリス	4名
インドネシア	31名	フィリピン	2名	タンザニア	2名	アメリカ	4名
タイ	13名	東ティモール	1名	ガボン	1名	ジャマイカ	1名
バングラディッシュ	14名	アフガニスタン	1名	セネガル	1名	ドミニカ共和国	1名

留学生アドバイザー

言語・文化・生活習慣が異なる日本で生活する留学生には、生活習慣や文化の違いによって生じる様々な問題がつきまといます。留学生が抱える問題を迅速に把握、対応するため、平成23年に留学生アドバイザーを配置しました。留学生指導、相談窓口として、留学生へのサポート体制を強化しています。

また、留学に関する情報のほか、海外留学向けの資料の提供や、日本人学生と留学生との交流の機会を与え、日本人学生の留学促進にもつなげています。

(相談窓口/月～金、午前10時～午後5時)

(場所/共通教育本館2階 ラウンジ)

■主な相談内容

在留資格に関すること	生活に関すること
在留資格取得、変更、更新について	病院への受診
再入国手続きについて	近隣の商業施設への案内
資格外活動許可について	国際交流会館または寮への入居
入国管理局の場所について	アパート探し
大学生生活に関すること	アパートの契約
日本語の添削	電気・ガス・水道などの手続き
授業等の学習について	ごみの分別方法
奨学金の受給について	家電等の処分方法
大学院等への進学について	国民健康保険等各種手続きの補助
	銀行の利用
	食事・食材について
	交通機関の利用方法

外国人留学生の体験談

「外国人留学生は、日本のことをどんなふう感じているの？」と疑問に思ったことはありませんか。山口大学で研究に励んでいる2人の外国人留学生に、留学のきっかけや山口大学の印象、出身地の国や地域の紹介も併せて、お話を伺いました。



郭 玲玲

(東アジア研究科・博士1年)

出身/中国
来日/平成24年3月～

留学のきっかけは？

大学の中から日本語を勉強していた、大学院卒業後、山東農業大学で5年間日本語を教える教師をしていました。語学の体験として日本に留学したかったのと、「これからの中国は教師

に対して博士号が要求されるので留学にはどうか」というアドバイスも受け、ちょうど募集していた東アジア研究科の特別選抜に応募しました。

どんな勉強をしているのですか？

日本文学の中に見られる中国古典に関するつながりを勉強しています。日本の小説家・中島敦をテーマに、漢学、江戸時代の儒学、日本での伝播・受容などを研究します。

出身地はどんなところですか？

生まれたのは、山東省煙台市で18歳まで住んでいました。大学で山東大学に進学したので山東省済南に移り、教師をしていた山東農業大学の時は、山東省泰安市に住んでいました。泰安市には、泰山という有名な山があります。秦の始皇帝から歴代の皇帝に尊崇され、皇帝が泰山に登って国民泰安の願いを伝える封禪の儀式を行った

という歴史のある山です。また、山東省は、りんごやなしなどの農産地として有名で、中国国内への流通だけでなく、日本にも輸出しています。

山口大学の印象は？

先生方の学問に対する姿勢に驚きました。自分の専門分野で優れた成績を修めており、学問に対する意識がとても高いですね。大学の設備がきれいで、資料も調べたいときにすぐに見つかるので助かります。ただ、授業は先生ばかりしゃべっていてとても静かです。中国と日本の授業の違いを感じることはよくありますね。



マイケル ジェームス ウィンター

(理工学研究科・博士前期1年)

出身/イギリス
来日/平成24年4月～

留学のきっかけは？

子供の頃から日本に興味を持っていて、カレッジが終わって大学に入る前に、日本で8ヶ月間ボランティアの仕事をしました。その時に日本語を勉強するのが好きになり、大学で日本語を

専攻しました。4年前、大学3年生の時に1年間、山口大学に留学しました。その時は語学だけの勉強だったのですが、イギリスの大学を卒業した後、また山口大学で日本語以外のことも勉強したいと思い、もう一度留学することになりました。

どんな勉強をしているのですか？

専門は土木で、土質や環境について勉強しています。土の種類の物性を調べて、それによって実験も行っています。4年前に留学した時の指導教員が兵動先生だったので、兵動先生の研究室に入ったのですが、勉強内容は面白いですが、学的なことは難しいのですが、専門的な日本語を覚えてしまい、普通の日本語を忘れるときがあります(笑)。

出身地はどんなところですか？

出身地は、ハルという街です。ノー

ス・イーストの方でリーズの近くです。イギリスで10番目に大きい街で、わりと都会です。建物の一部が海の中にある「The Deep」という有名な水族館があります。イギリスでは、この街はこの食べ物があるというものがないので、特産品は特にありません。

山口大学の印象は？

印象はとても良いです。先生方も頭が良くて優しいですね。ただ、宇部の街は、田舎なところも好きなのですが、もう少し遊ぶところがあればいいと思います。近くのととき公園に猿や鳥を見に行くのが好きです。自転車であちこち行くのも楽しいですね。

山口大学テニュアトラック制度

テニュアトラック制度とは？

テニュアトラック制度とは、公正で透明性の高い選考により採用された若手研究者が、より安定的な職を得る前に、任期付の雇用形態で自立した研究者として経験を積むことができる仕組みです。

大学にとっては、優秀な若手研究者を採用できる、一般の若手教員に比べて科学研究費助成事業の採択率が高くなる、などのメリットがあります。

テニュアトラック教員にとっては、実績を残せば安定的な職が得られる、十分な研究費と自立した研究環境の中で自分の研究に取り組める、研究以外の業務が軽減されるの

で研究時間が確保できる、といったメリットがあります。

山口大学テニュアトラックの背景

山口大学は、1815年の山口講堂の設立以来、地域の基幹総合大学として、長州スピリッツ（明治維新発祥の地に根付く挑戦と変革の精神）を持つ有意な人材を輩出してきました。2015年に創基200周年を迎えるにあたり、「地域に学び世界に翔く」新たな人材を育成する為の基盤として、研究力の革新的な強化を目指しています。

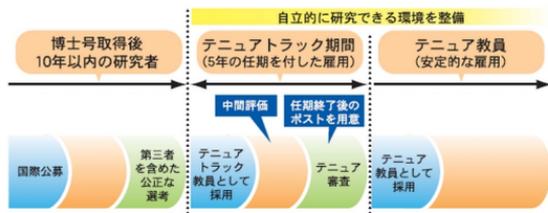
平成23年度より、文部科学省人材育成費補助金の制度に則ったテニュアトラック制度を導入し、地域の基幹総合大学として、さらなる教

育・研究の発展・充実を目指した人事制度改革に取り組んでいます。

山口大学テニュアトラックの現状

平成23年度は、理工学研究科及び医学系研究科において1名ずつ、計2名のテニュアトラック教員を採用し、研究主宰者（PI）としての活動を開始しています。

平成24年度には、理工学研究科において2名のテニュアトラック教員を採用し、テニュアトラック制度の定着を進める一方、平成24年度に設置された鹿児島大学との連携による共同獣医学部において、テニュアトラック制度を新規に導入します。



詳しくは「山口大学テニュアトラック」ウェブサイトへ。
<http://www.tenure.jmu.yamaguchi-u.ac.jp/>

TENURE TRACK NEWS

■平成24年度「テニュアトラック普及・定着事業」に共同獣医学部が採択（平成24年7月）

共同獣医学部が、科学技術人材育成費補助事業「テニュアトラック普及・定着事業（機関連抜型）」に採択されたことが、平成24年7月、文部科学省より発表されました。

理工学研究科、医学系研究科に続き、共同獣医学部の採択により、制度のさらなる普及・定着を目指すとともに、テニュアトラック教員への支援体制や環境整備を進めていきます。

■テニュアトラック准教授 富士将先生が国際会議で受賞（平成24年5月）

理工学研究科のテニュアトラック准教授 富士将先生が平成24年5月、「国際会議 IECS2012」で優秀な論文に対して与えられる「The 2012 IAENG International Conference on Scientific Computing」を受賞しました。

受賞した論文は、インターネットに接続されるパソコンなどを集めて大規模な並列・分散計算システムを構築するボランティアコンピューティングにおいて、結託攻撃の影響を評価したものです。富士先生のさらなる活躍を期待しています。

山口大学では、文部科学省の「テニュアトラック普及・定着事業」の採択により、トップレベルの若手研究者の育成制度の充実に取り組んでいます。今回の特集では、テニュアトラックの仕組みや山口大学での現状、テニュアトラック教員について、ご紹介いたします。



■テニュアトラック教員紹介

准教授 上條 真 Kamijo Shin

大学院理工学研究科（理学）

着任/平成 24 年 4 月 1 日

研究分野/自然科学基礎系学域

テーマ/高効率な合成を実現する新規分子変換法の開発

目標としているのは、あらゆる物質の設計と合成を可能にする有機合成化学を基盤とした分子変換技術の革新です。物質生産工程の短縮は、最終体に至るまでに排出される廃棄物の抑制と、物質生産に必要なエネルギーの削減に繋がります。有機合成化学分野における基礎研究を通じて、環境問題やエネルギー問題の解決を目標としています。



研究室での上條先生

准教授 福士 将 Fukushima Masaru

大学院理工学研究科（工学）

着任/平成 24 年 3 月 1 日

研究分野/システム設計工学系学域

テーマ/計算機システム・ネットワーク

並列計算システムに関する研究を行っています。研究テーマとして、「高信頼・高性能・大規模な並列分散計算システムの実現とその応用」を掲げ、特に、集積回路チップ内に実装される細粒度の並列プロセッサや、インターネット規模の粗粒度の並列分散システムを実現するために必要となる高信頼化手法や高性能化手法、並列システムの実用に関連する研究を行います。



研究室での福士先生（中央）

助教 佐古田 幸美 Sakoda Yukimi

大学院医学系研究科（医学）

着任/平成 24 年 2 月 1 日

研究分野/応用医工学系学域

テーマ/リンパ球の共シグナルを対象とした悪性腫瘍等に対する治療法の開発

- ①リンパ球の共シグナルを対象とした GVHD に対する治療法の開発
T細胞に発現する BTLA や HVEM などの共シグナルに対する抗体を用いて骨髄移植後の副作用である GVHD を制御することを目的としています。
- ②キメラ抗原受容体を用いた癌に対する新たな治療法の開発
FITC をラベルした抗体と FITC に対するキメラ抗原受容体を用いて複数の癌抗原に同時に反応する T細胞を作成することを目的としています。



研究室での佐古田先生

考える就職活動

記者を仕事にするということ

センパイたちはどんな仕事に就いているの？

どんなふうに働いているの？

そこで、「考える就職活動」平成24年度第3回目は、山口大学を卒業後、サンデー山口に入社し、ライター・営業として活躍されている伊達彩香さんに、記者としてのやりがいや就職活動での体験談についてお話を伺いました。

Q1.どのような仕事をしているのか教えてください。

A. 自社媒体の「サンデー山口」や「HABA-HABA (ハバハバ)」に掲載する記事を取材して書いたり、紙面に掲載する広告の営業活動をしたり、いわゆる媒体作りが仕事です。

記事については、山口市内に密着した、大手の新聞では取り上げられないような身近なネタを走り回って集めています。記事を掲載することで、取材先から喜んでもらったり、地域で話題になったりすることもあり、自分がゼロから作り上げたものが影響してみんなが喜んでるのを感じると嬉しいですね。有名人に取材できることもあります。広告についても、自分が担当した広告で売り上げが上がったと聞くと、とても嬉しいです。

ただ、記事ネタがないと誌面が埋まらないですし、広告がないと発行ができないので、いつも締め切りに進まれる毎日です。

Q2.なぜ出版業界に興味を持ったのですか？

A. 中学から大学まで吹奏楽部でトランペットをやっていたのですが、大学の時に広報長を務めた時、演奏会のチラシを作り、広告も集め、告知をして…。こうした仕事を体験して興味を持ちました。物を見て人に見てもらうことに楽しさを感じましたね。

Q3.就職活動はどのように進められたのですか？

A. 理学部だったので、最初から出版関係で就職活動していたわけではありません。私は知りたがりの性格だと自覚していたので、生物や食品、薬品などの知識を知りたいと思って理学部に進学しました。



伊達 彩香 Date Ayaka

岡山県丹波市美星町出身。山口大学理学部生物・化学科を卒業。2011年4月に株式会社サンデー山口に入社し、現在2年目。取材・記事作成、広告営業を行うライター・営業として勤務。

た。最初はその流れから食品関係の会社を受けていたのですが、なかなか選考に進むことができませんでした。自分に向いているかも分からず、行きたい理由もぼやけたまま活動していたので、選考まで進めなかったのだと思います。そんな時、私がやりたいことは何かを思い返してみても、「ゼロから物を作って人に見てもらう仕事ではないか。知りたがりという性格だから、記者を仕事にすれば、知らないことを知りながら形に見てもらえるので喜びを感じるのではないか」という結論に至りました。そして、サンデー山口の求人を見つけ受けたところ、採用となったのです。出版関係で受けたのは1社だけでした。全く違う分野の世界に就職したことで、今は広い視野で物を見ることができるようになりましたね。

Q4.在学生へメッセージをお願いします。

A. 私は自分が何をやりたいかを明確にしないまま就職活動を続けて、なかなか決まらずに悩み続けていました。これから就職活動する方は、学生のうちに「何をやるのが楽しいか」「何にやりがいを感じるか」を見つけてほしいですね。そのためには一つのことには集中するのではなく、いろんな分野にチャレンジして、その経験の中から見つけて下さい。

就職関連情報

■「2012ふるさと山口企業合同就職フェア」の開催 (現4年生・修士2年生、既卒者対象)

来春の大学進学予定等の就職を支援するとともに、企業の人材確保を支援するため、企業合同就職フェアが以下のとおり開催されます。(参加無料・事前申込み不要)

〈山口会場〉

■日 時：平成24年10月19日(金)13:00~16:00

■場 所：山口グランドホテル(山口市小郡費金町1-1)

〈周南会場〉

■日 時：平成24年10月26日(金)13:00~16:00

■場 所：キリンビル(リッジ周南総合スポーツセンター(周南大学志学427番地))

※詳細は以下のアドレスのサイトを御覧ください。

http://www.joby.jp/student/fair_detail.php?id=12

■「ジョブスタディ」の開催

大手企業数社の人事担当者が来学し、働くことを直接語ってくれる真実種合同セミナーです。

■日 時：平成24年10月27日(土)
13:00~18:00

■場 所：共通教育棟2番教室(予定)

■参加予定企業：

イオン(株)、東田工業(株)、コクヨ(株)、スターバックスコーヒージャパン(株)、帯人(株)、(株)ローソン

(※参加予定企業は変更になる可能性があります。)

■「学内業界・企業研究会」がいよいよ始まります！

企業や官公庁で働く方々をお招きし、学生の皆さんが業界の動向や会社及び働くことについてより深く、よりリアルにとらえ、今後の就職活動やキャリア形成に役立ててもらおう「学内業界・企業研究会」がいよいよ11月から開催します。

■日時：平成24年11月6日(月)~

平成25年2月28日(木)

■場 所：吉田キャンパス及び常盤キャンパス

※開催時間・場所の詳細については、決まり次第別途お知らせします。



YU-PRSS!

“Yamaguchi University Public Relations Student Staff” 略して YU-PRSS(ユープラス)。
「山大王のあなた(YOU)にも、そうではないあなた(YOU)にも“プラス”になる情報を届けたい」との
想いを込めて名付けられました。現在 13 人のメンバーにて、山口大学の広報活動を行っています。

NEWS&TOPICS

私たち学生スタッフが、山大王の最新の話やニュースをお届けします!

01

<『創基200周年』情報> 第2回フォトコンテスト 「写真で残そう! 山大王」を実施!

山口大学創基200周年を記念して、『第2回フォトコンテスト「写真で残そう! 山大王」』を実施しています。

第1回フォトコンテストは2011年10月~2012年3月にかけて募集を行い、優秀作品に賞状および副賞を贈呈しました。第2回も同様に、優秀作品には賞状および副賞を贈呈する予定にしています。

なお、第2回フォトコンテストは「山口大学の“人”」をテーマに募集しています。ただし、このテーマ以外の作品も募集しておりますので、どしどし応募ください。

また、募集要項は以下のとおりですので、この要項にしたがひ、応募いただけますよう、よろしくお願いします。

募集要項

○応募条件

- ・山口大学(附属学校を含む)、在校生、教職員、卒業生、関係者
- ・お一人何回でも応募できます。(ただし、一度の応募で3点まで)
- ・応募にあたっては、応募規約に同意いただいたものとします。(応募規約は下記サイトを参照願います。)

○応募期間

- ・2012年8月1日~2013年1月31日(24:00受信分まで有効)

○応募方法

- ・所定の応募フォームから、必要項目に入力のうえ、画像データを投稿してください。
- ・写真データの容量は2MB以内、フォーマットはjpegまたはpngでお願いします。写真データの加工は行わないでください。

※第2回フォトコンテストの詳細は、以下のホームページアドレスのサイトを御覧ください。

<http://www.yamaguchi200.jp/index/page/id/181#>



02

中井彰教授らの研究グループが、 がん治療に新たな道をつくる可能性 がある研究成果を発表!

本学大学院医学系研究科医化学分野の中井彰教授、藤本充章講師を中心とした研究グループが、産業技術総合研究所の夏目雄志主任研究員らとの連携研究で、タンパク質のホメオスタシス(恒常性)を調整するための基本的な仕組みを解明しました。

細胞内タンパク質は、ストレスなどで異常を発生します。そして、細胞は、そのようなタンパク質の異常を元の状態に修復するために、ストレスタンパク質の量を調節し応じます。中井教授らは、その調節に必要なタンパク質複合体(HSF1-RPA1)を発見し、この複合体ができない条件下では、マウスのこの腫瘍形成が抑制されることを明らかにしました。

今後は、調節に必要なタンパク質複合体であるHSF1-RPA1の相互作用を断ち切る化合物を見い出すことによって、がんの治療薬の開発につながることができると期待されます。

なお、この研究成果は、米国の科学雑誌『Molecular Cell』(8月30日付け)のオンライン版に掲載されています。



03

丸本学長と業務支援室 スタッフとの懇談会を開催

8月28日(火)、事務局2号館特別小会議室にて、丸本学長、吉井理事はじめ関係者と、業務支援室スタッフとの懇談会が開催されました。

業務支援室は、障害者雇用推進の一端として設置しているもので、スタッフは吉田キャンパスの環境整備等の業務に従事しています。

この会は、先日より行われた「大賀ハス鑑賞会」の際に、列席の方々から「花壇の花がとても綺麗に咲いていますね。」との声をたくさんいただいたことと、業務支援室スタッフの普段の環境美化業務への取り組みに対する学長の感謝の思いから、実現したものです。

懇談会では、同室スタッフはしっかりと自己紹介を行い、花壇管理やBook便などを行い働きありのままの姿が作業紹介のビデオに映し出され、作業の内容や堂々とした出席者に脱帽しました。スタッフの作業内容や働く姿、そして懇談会での自己紹介や発表の姿を、熱心に見ていたこと、業務支援室への理解が深まりました。

その後も和やかな雰囲気では済み、最後にスタッフの代表者から、ねぎらいの言葉への謝意と、今後も学内の環境美化業務のために最善を尽くすことなどをお礼の言葉として読み上げ、会は終了しました。



【YU-PRSS(ユープラス)とは?】「キャンパスライフ」、「ワイユーインフォメーション」の制作に携わる山口大学広報学生スタッフです

YU-PRSSメンバー

黒江 那津子/佐々木 裕美/久保田 法彦/入江 貴博/国本 亮/長岡 奈緒子/溝口 明吾/岡島 あかね/前田 梨乃/吉岡 優一/石井 沙希/中真 真央/城村 ひとみ/長岡 真大
倉嶋 沙和/田里 翔大

★追加メンバー募集中!

主な仕事は、山口大学のホームページ内に毎週更新されている「キャンパスライフ」ページの作成と山口大学情報誌「ワイユーインフォメーション」の制作補助です。取材・撮影・記事執筆といった、企画・編集段階に興味のある方、一緒に活動してみませんか? 詳しくは下記アドレスまでメールしてください。

■感想、取材依頼などお気軽にメールしてください!

今号についての感想や、今後こういった特集はどうだろうといったアイデア、こんな人を取材に欲しいといったご要望も受け付けております。また、「私たち取材に欲しい」といったサークルやグループも大歓迎です! たくさんのメールをお待ちしています。

E-MAIL: campus@yamaguchi-u.ac.jp キャンパスライフURL: http://ds22.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~campus/campus_life#20_web/

「志」つなぎ 伝える
二百年



創基200周年
山口大学

～2015年に山口大学は創基200周年を迎えます!～

YU-INFORMATION
2012 SEPTEMBER No.109

山口大学広報誌